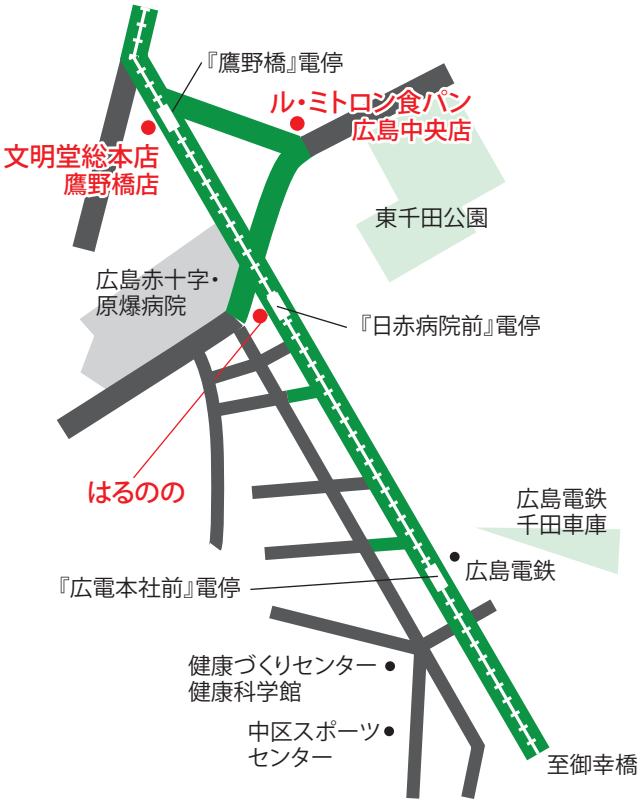
# 魅力再発見！ ぶらっと商店街さんぽ no.11

## 千田通り商店街

「千田通り商店街」は鷹野橋交差点から宇品線沿いに南に続く商店街です。
2012年6月、「千田町1丁目」を中心にした商店街から「千田通り」を中心にした商店街に衣替えして再スタートを切りました。「SENDA TOWN」の名称が定着するために、シンボルマーク「アートエッグ」のプレートを歩道のフラワーポットに付けたり、組合店舗の店先にステッカーを貼ったりして、商店街の統一感を出す工夫をしています。学生街の色が濃かった街から現在は市内中心部へのアクセスも便利で、病院や公園などがありマンションも増え、落着いた町へと変遷しています。
これまで以上に人と人とのつながりを大切にしながら、新たな街づくりに向けての活動を行っています。




商店街プロフィール

| | |
|---|---|
| 設　立 | 2012年 |
| 所在地 | 広島市中区千田町1丁目13-3 |
| 電　話 | 082-241-2111 |
| 会　長 | 湊　賢一 |
| 会員数 | 46 |
| アクセス | 広島電鉄「鷹野橋」「日赤病院前」「広電本社前」電停<br>市内バス「南鷹の橋」「日赤前」「広電前」停留所 |

**千田通り商店街ホームページ**
**https://senda-town.com/**

### 商店街スポット

## 千田町の名前の由来は？

「千田」という名は、宇品港築港に功績のあった千田貞暁県令（現在の県知事）にちなんでいます。
千田県令は1880年に赴任し、最後は私財までを投じて、宇品港が完成しました。これに伴い広島市街と宇品を結ぶ新道が開設し、この道を俗に千田通りと呼んでいたそうです。1916年、千田町という町名が国泰寺村の南半分に名付けられました。
1912年には広島電鉄の市内電車が開通し、千田町に活気を与え、1937年には広島貯金局、1939年には広島赤十字病院も設置。原爆で爆心地から約1.4キロに位置する千田町一帯は全焼しましたが、1949年に新制広島大学が発足するなど教育の街として栄えました。そして2016年、千田町誕生から100年を迎えました。

▲アートエッグ

「戦争と核兵器を二度と繰り返してはならない」との想いを込めて建てられた、慰霊と祈りの像です。千田通りの北西の端に設置されています。